

令和元年(平成31年)

消防概況

土岐市消防本部

火災概況

前年と比較すると、建物火災の件数が大幅に増加しました。

○ **火災件数**

令和元年（平成31年）中における市内での火災件数は22件で、平成30年と比べると7件の増加となりました。

○ **死傷者**

死傷者数は7名で、内訳は、死者1名、負傷者6名でした。

○ **消防団の出動**

22件発生した火災のうち、消防団が出動した件数は7件でした。

○ **原因別**

原因別では、ストーブ1件、たき火1件、放火・放火の疑い2件、その他13件、不明・調査中4件でした。

○ **火災種別**

火災種別ごとに見ると、**建物火災が16件**で最も多く発生し、車両火災3件、林野火災2件、その他の火災が1件発生しました。

○ **土岐消防の対策**

毎年火災により尊い命や財産が失われ、死傷者の多くは住宅火災で発生し、その多くは高齢者となっています。

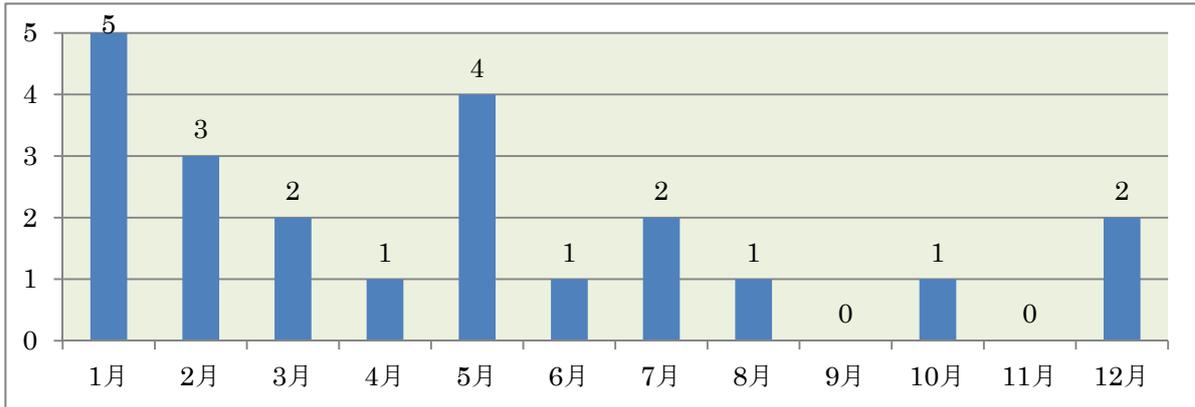
消防本部では、火災による死傷者を低減するため、住宅用火災警報器設置の呼びかけなどの「住宅防火対策」、警戒巡視などによる「放火火災防止対策」、各施設への立入検査および消防訓練の立会いなどによる「不特定多数の方が利用される施設や、福祉施設などの防火安全対策」を重点推進項目として火災のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。

過去の火災状況と昨年との比較

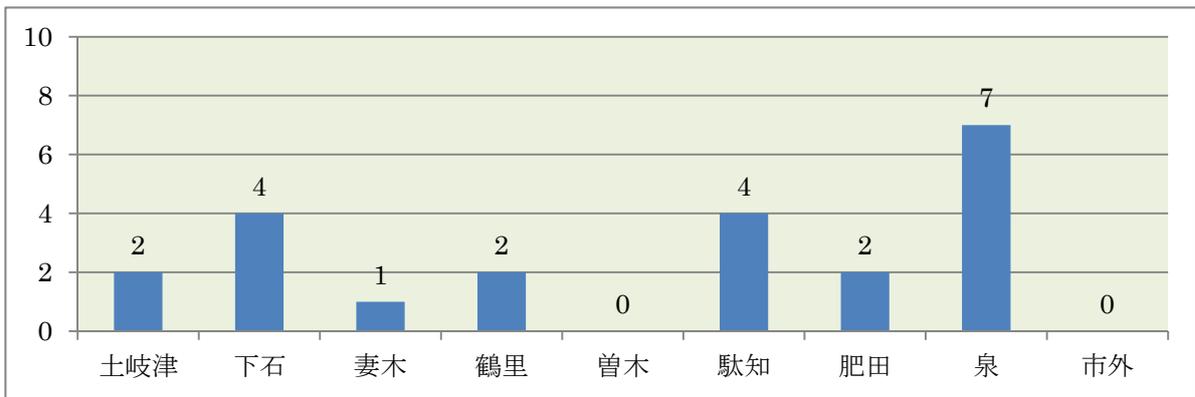
		平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	増減
火災件数	合計	22	15	22	+7
	建物火災	14	9	16	+7
	林野火災	1	0	2	+2
	車両火災	3	1	3	+2
	その他の火災	4	5	1	-4
者数 死傷	死者	2	2	1	-1
	負傷者	6	4	6	+2
損害額（千円）		55,221	45,777	※83,821	+38,044

※令和元年12月2日、12月26日の火災損害額については調査中のため含まれていません。

月別火災件数



地区別火災件数



住宅用火災警報器 取り付けていますか？

- 設置した場合**死者数が4割減少**
※住宅火災 100 件あたり（総務省消防庁）
- 設置したら**定期的に作動の確認を**
- 設置後 **10 年を目安に交換**しましょう



令和元年度住宅用火災警報器設置状況について

【調査結果】

土岐市	岐阜県	全国
78.6%	80.9%	82.3%

※岐阜県と全国の設置率は令和元年6月1日時点

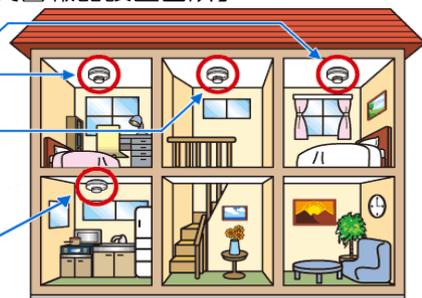
【住宅用火災警報器設置箇所】

設置義務

寝室
階段

設置推奨

台所



救急概況

65歳以上の救急事案が全体の約70%を占めています。

○ **救急件数**

令和元年（平成31年）中における救急件数は**2,838**件で、平成30年の**2,717**件と比較して**121**件の増加となりました。これは、1日平均約8件出動したことになります。

搬送人員は**2,706**人で市民約**21**人に1人の割合で救急搬送されていることになります。

全国的な高齢化の進行により、本市においても全搬送人員の約**70%**を65歳以上の高齢者が占めています。

（令和元年11月末日の人口**58,003**人より）

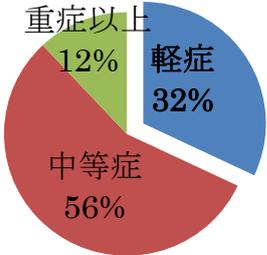
○ **最も多く発生した事故種別は急病**

救急事故種別では、**急病1,763**件で平成30年と比較して**105**件の増加、**一般負傷462**件で5件の減少、**交通事故186**件で12件の増加、その他**427**件で9件の増加となりました。

○ **32%は軽症程度**

救急搬送した**2,706**人のうち**32%**にあたる**871**の方が、医師により入院の必要がないと診断された「**軽症**」の方でした。本当に救急車が必要な人のもとへ1秒でも早く救急車を到着させ、大切な命を救うために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

傷病程度割合

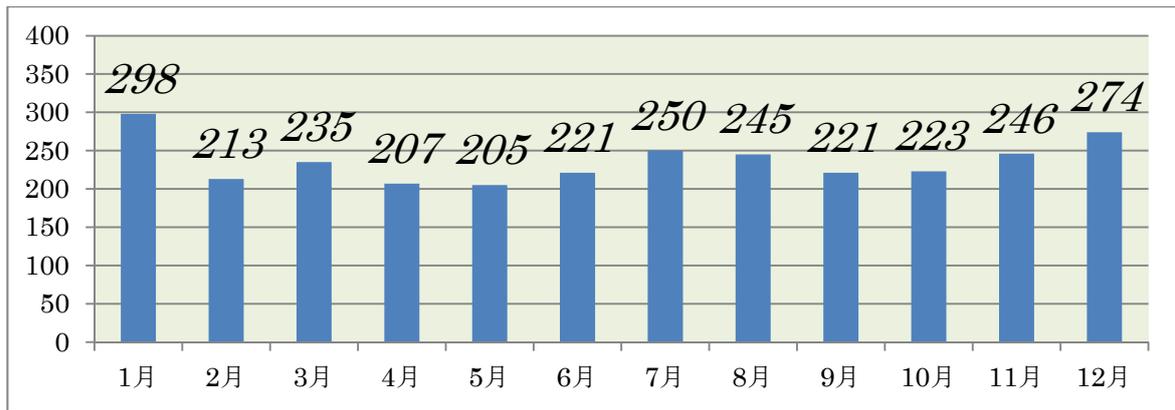


軽 症…入院を必要としないもの
 中等症…傷病の程度が重症または軽症以外のもの
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの

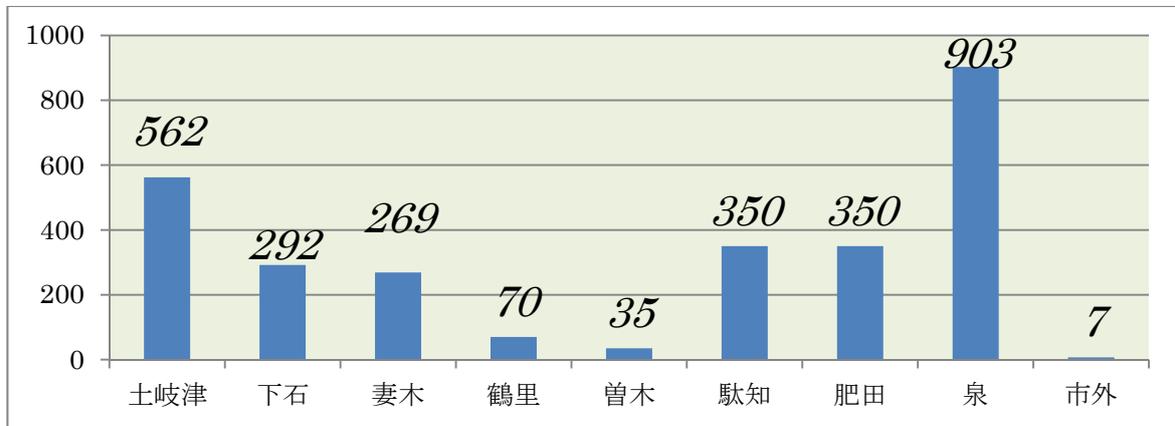
過去の救急状況と昨年との比較

		平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	増減
救急件数	合計	2,546	2,717	2,838	+121
	急病	1,526	1,658	1,763	+105
	一般負傷	459	467	462	-5
	交通事故	178	174	186	+12
	その他	383	418	427	+9
搬送人員		2,397	2,617	2,706	+89
1日平均件数		6.98	7.44	7.78	+0.34

月別救急件数



地区別救急件数



救 助 概 況

交通事故による救助事案が全体の約40%を占めています。

○救助件数

令和元年（平成31年）中における救助件数は23件で、平成30年と比較して4件の増加となりました。

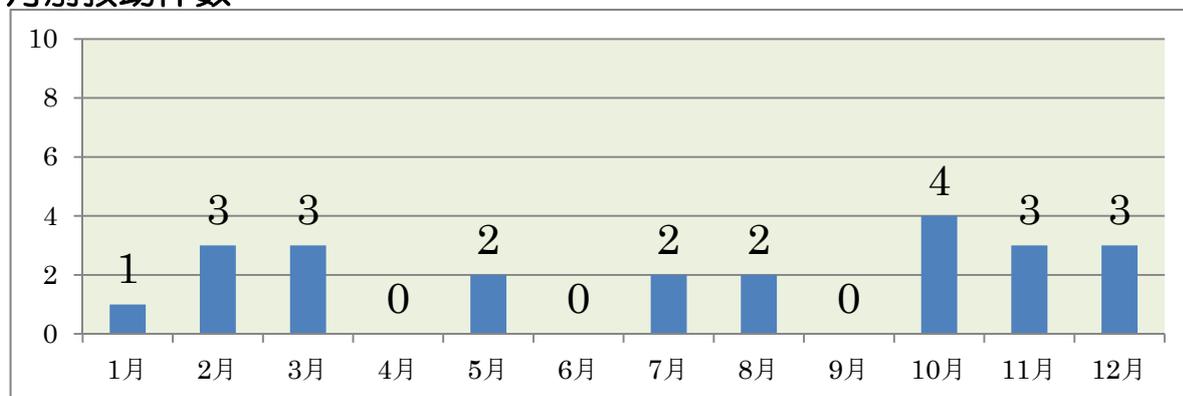
○最も発生した事故種別は交通事故

土岐市では救助件数のうち交通事故が39%を占めています。土岐市については多数の幹線道路が整備されており、高速道路についてはジャンクションの設置もあり非常に多くの車両が往来することから交通事故が発生しやすい地域と言えます。

過去の救助状況と昨年との比較

		平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	増減
救助 件 数	合計	26	19	23	+4
	交通事故	17	15	9	-6
	その他	9	4	14	+10
活動件数		15	12	18	+6
救助人員		15	14	19	+5

月別救助件数



地区別救助件数

